



株式会社 **タカチホ**

2023年3月期第2四半期

決算説明会資料

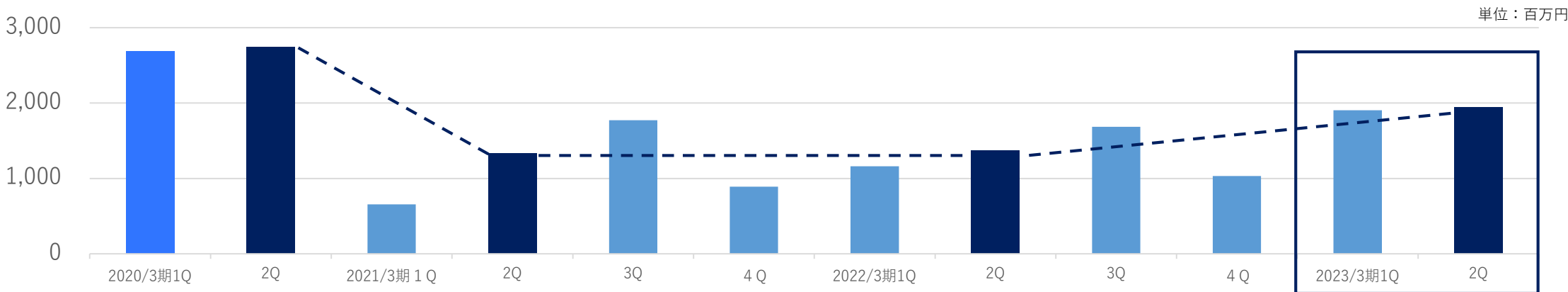
2022年12月9日（金）
（8225：東証スタンダード）



2023年3月期 第2四半期決算 及び業績予想について

コロナ禍における当社の現況

	19年4月-9月	20年4月-21年3月	21年4月-22年3月	22年4月-9月			
外部環境	参考 (コロナ禍前)	4/7~5/25 緊急事態宣言	1/8~3/21 緊急事態宣言	4/25~6/20 7/12~9/30 順次緊急事態宣言	オミクロン株による 感染再拡大	感染再拡大 第7波	
当社対応		7月~ 継続的な外出 自粛要請	7月22日~ GoToキャンペーン	4/5~9/30 順次まん延防止等重点 措置	7月23日 東京オリンピック 開幕	1/9~3/21 まん延防止等 重点措置	9月30日 宣言/措置の解除
四半期売上高推移	<ul style="list-style-type: none"> ■ 雇用調整助成金の活用による、休業取得及び店舗休業の設定/出口戦略としての人材確保・維持 ■ 商品構成の変更 (箱菓子→自家需要品) <ul style="list-style-type: none"> ■ 在庫処分 ■ 取引先条件交渉、配送頻度の見直し ■ 観光以外の販路への営業強化 ■ 不採算店舗の売却/撤退 ■ 全子会社でのECサイト構築 ■ 商品構成の変更 (自家需要品→土産品) <ul style="list-style-type: none"> ■ 商品価格の改定 ■ 飲食事業の見直し ■ 中期経営計画の策定・推進 						

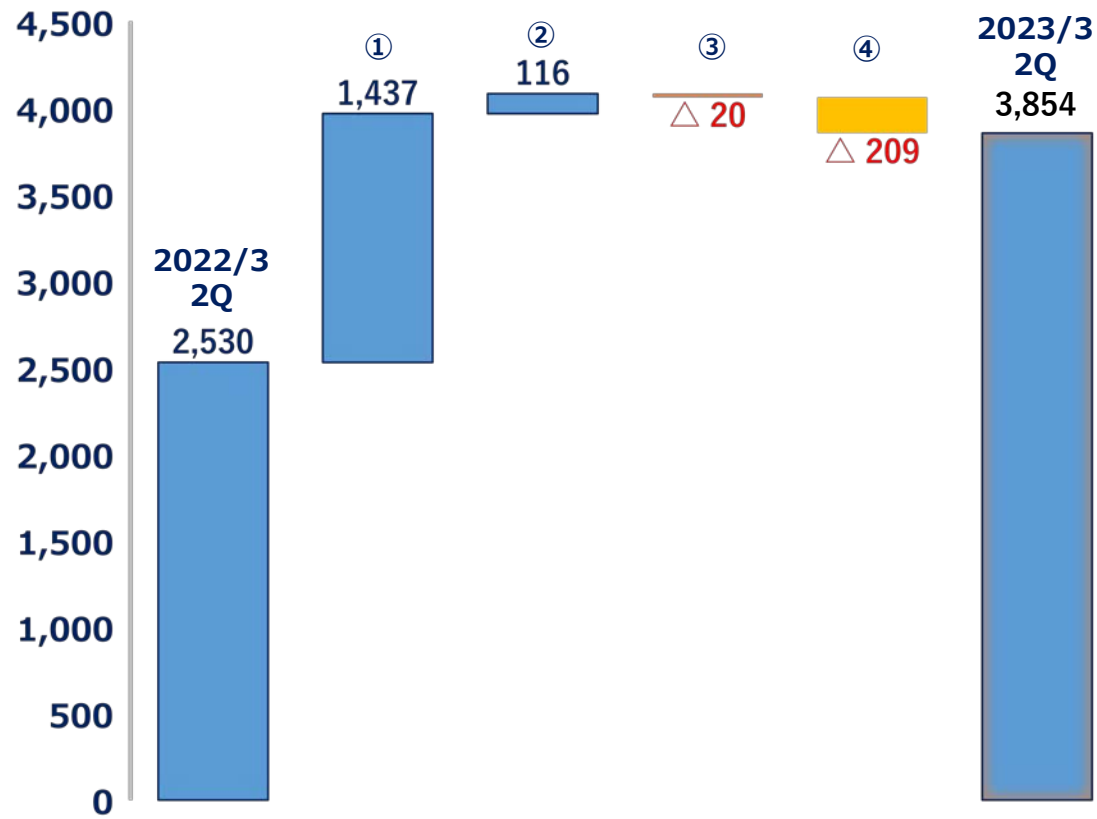


単位：百万円／%	2022年3月期 第2四半期	構成比	2023年3月期 第2四半期	構成比	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高	2,530	100.0	3,854	100.0	1,323	52.3
売上原価	1,855	73.3	2,739	71.1	884	47.7
売上総利益	674	26.7	1,114	28.9	439	65.2
販売費及び一般管理費	834	33.0	884	23.0	50	6.1
営業利益	△159	－	229	6.0	389	－
経常利益	△161	－	229	5.9	390	－
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△60	－	258	6.7	318	－

＜前年同期比52.3%増収
営業利益も黒字転換＞

- ・全国的にコロナ感染対策の見直しが進み観光客数と個人消費が回復
- ・自治体が推進する県民割の利用も浸透
- ・長野市における御開帳や全国的な観光需要回復により主要観光地へ新商品を重点的に展開
- ・商材管理強化により廃棄ロスを削減
- ・不採算の飲食事業見直し

売上高 **3,854百万円**
(前年同期比+52.3%)



① 市場回復

+1,437百万円程度

感染対策の見直しが進んだほか県民割の浸透もあり回復加速

② 善光寺の御開帳効果

+116百万円

人出は前回（2015年）に対し9割まで回復

③ EC事業

Δ20百万円

急な観光需要の回復に伴う人的課題により一部EC販売の休止
EC売上高は73百万円

④ お土産事業以外での売上の減少

Δ209百万円

物販、飲食事業等における直営店舗の閉店Δ134百万円
アウトドア事業の需要一巡による販売減少Δ75百万円



セグメント別業績

単位：百万円／％	2022年3月期第2四半期			2023年3月期第2四半期		
	売上高		営業利益	売上高		営業利益
	金額	構成比		金額	構成比	
みやげ卸売事業	1,514	59.9	△63	2,640	68.5	201
みやげ小売事業	192	7.6	△49	503	13.1	64
みやげ製造事業	29	1.1	△38	69	1.8	0
(観光土産品事業計)	1,736	68.6	△151	3,213	83.4	266
温泉施設事業	99	3.9	0	123	3.2	9
不動産賃貸事業	59	2.4	22	62	1.6	22
アウトドア用品事業	405	16.0	69	329	8.6	36
その他	230	9.1	3	124	3.2	10
※ (調整額)	—	—	△103	—	—	△115
合 計	2,530	100.0	△159	3,854	100.0	229

※営業利益における調整額はセグメント間取引消去額及び各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

観光土産品事業

□ みやげ卸事業

売上高 **2,640百万円** 営業利益 **201百万円**
(前年同期比+74.3%) (前年同期△63百万円)

□ みやげ小売事業

売上高 **503百万円** 営業利益 **64百万円**
(前年同期比+161.2%) (前年同期△49百万円)

□ みやげ製造事業

売上高 **69百万円** 営業利益 **0百万円**
(前年同期比+135.8%) (前年同期△38百万円)



当社製造商品

市場や顧客ニーズの変化を的確に把握し、機会を捉えた商品提供による販売力強化に注力

- 全国的にコロナウイルス感染対策の見直しが進み、観光客と個人消費が回復傾向
- 自治体が推進する県民割の利用が浸透、長野市においては善光寺御開帳も開催
- ➡コロナ禍での自家需要商品から従来のお土産や贈答を目的とした箱菓子へシフトを進める
- ➡より地域性の高い商品の提供、ターゲットを明確にして商品を展開

アウトドア用品事業

□ アウトドア用品事業

売上高 329百万円 営業利益 36百万円
(前年同期比△18.6%) (前年同期69百万円)

長野県内で30年以上の業歴を活かし顧客基盤を維持・拡大

- ・ 取扱店の増加や商品拡充などで競合激化
 - ・ 人気の高い一部キャンプ用品は品薄で在庫切れなど販売に影響
 - ・ アウトドアブームは継続しているものの拡大ペースは落ち着きつつあり商品需給は一巡
- ➡ 催事やイベントなど体験の場を増やし潜在顧客を掘り起こす
- ➡ 新規ユーザーへ向けたレンタル事業へも進出



温浴施設事業

□ 温浴施設事業

売上高 123百万円 営業利益 9百万円
(前年同期比+24.2%) (前年同期0百万円)

全国的にコロナウイルス感染対策の見直しが進み、個人消費が回復傾向
→価格設定の見直し、キャッシュレス対応の推進により客単価向上策を実施



温泉然 湯のたじ苑
まめじま

不動産賃貸、その他事業

□ 不動産賃貸事業

売上高 62百万円 営業利益 22百万円
(前年同期比+6.2%) (前年同期22百万円)

□ その他事業

売上高 124百万円 営業利益 10百万円
(前年同期比△45.7%) (前年同期3百万円)

その他事業においてより効率的な運営を加速

→ショッピングタウンあおぞらへ新テナント出店 (飲食店、冷凍食品自販機エリア新設など)

→飲食事業において不採算の2店舗を閉店





連結貸借対照表

単位：百万円／％	2022年3月期		2023年3月期第2四半期		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
資産の部						
流動資産合計	1,616	44.3	2,388	53.9	772	47.8
現金及び預金	744	20.4	1,174	26.5	429	57.7
受取手形・売掛金	414	11.4	693	15.6	278	67.3
棚卸資産・その他	456	12.5	520	11.7	63	14.0
固定資産合計	2,032	55.7	2,046	46.1	13	0.7
有形固定資産	1,633	44.8	1,612	36.4	△20	△1.3
投資有価証券・その他	398	10.9	433	9.8	34	8.6
資産合計	3,648	100.0	4,434	100.0	785	21.5
負債の部						
流動負債合計	1,512	41.5	1,456	32.8	△56	△3.7
支払手形・買掛金・その他	561	15.4	692	15.6	130	23.3
短期借入金	500	13.7	300	6.8	△200	△40.0
一年内返済予定の長期借入金	451	12.4	464	10.5	12	2.9
固定負債合計	1,225	33.6	1,807	40.8	582	47.5
負債合計	2,738	75.1	3,264	73.6	525	19.2
純資産の部						
資本金	1,000	27.4	1,000	22.6	0	0.0
資本・利益剰余金	88	2.4	347	7.8	258	291.1
自己株式	△179	△4.9	△179	△4.0	0	0.0
純資産合計	910	24.9	1,170	26.4	259	28.5

連結キャッシュ・フロー計算表

単位：百万円	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△18	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	19	△12
フリーキャッシュフロー	1	36
財務活動によるキャッシュ・フロー	87	399
現金及び現金同等物の増減額	89	435
現金及び現金同等物の期首残高	733	733
現金及び現金同等物の期末残高	822	1,169



2023年3月期業績予想（当初の予想から変更なし）

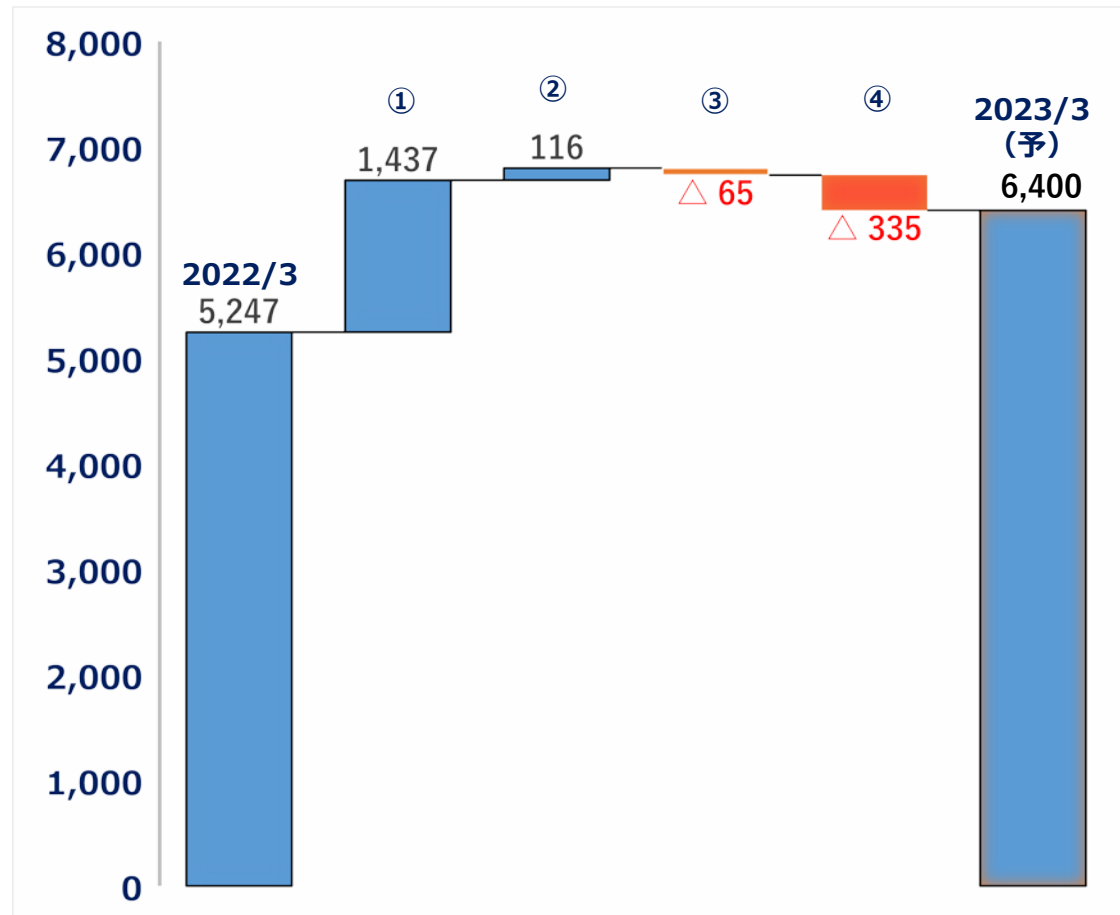
セグメント (単位：百万円)	2022年3月期	構成比	2023年3月期	構成比	前期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	5,247	100.0	6,400	100.0	1,153	22.0
観光みやげ品事業	3,853	73.4	5,064	79.1	1,211	31.4
その他事業	1,394	26.6	1,336	20.9	△57	△4.1
営業利益	△216	－	60	0.9	276	－
観光みやげ品事業	△178	－	25	－	203	－
その他事業	155	－	188	－	33	21.3
(調整額)	※△193	－	※△153	－	40	－
経常利益	△220	－	55	0.9	275	－
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△154	－	38	0.6	192	－

※営業利益の調整額は、セグメント間取引消去額及び各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。



2023年3月期売上高予想

売上高 6,400百万円
(前年同期比+21.9%)



①市場回復

前期10～12月は既に行動制限解除の特需効果あり
1～3月は観光需要低迷期で大幅増は期待できず
定期的な感染拡大による行動自粛

②善光寺の御開帳効果 +116百万円

人出は前回（2015年）に対し9割まで回復

③EC事業

△65百万円程度

急な観光需要の回復に伴う人的課題により一部EC販売の休止
EC売上122百万円

④その他事業（お土産事業以外）

△335百万円

アウトドア需要一巡等による販売減少△128百万円
飲食事業見直し及びその他△207百万円

みやげもの関連事業：商品力強化と販路拡大

□ 地域産品の取扱量増

中計における商品構成目標70%以上

→ 新商品の売上では地域産品が78%（上期実績）を占めニーズ強い

→ 商品構成の見直しに更に注力

□ 観光以外の販路拡大

販売エリア、新たな接点の拡大

→ 催事企画のエリアを拡大、各地の老舗銘菓や料亭とコラボによる販路開拓

→ 地域のデパート・スーパー・量販店・CVSへ納品拡大、ノベルティー採用にも注力

サステナビリティ関連

□ 環境に配慮した原材料の導入 → 昆虫食、バイオマスインキの活用

□ DXの推進 → 廃棄商品の削減、ペーパーレス化、従業員満足度の向上



参考資料

観光土産品を中心にレジャー産業を基軸にする専門企業

会社名	株式会社タカチホ
設立	昭和24年2月28日
代表者	代表取締役社長 久保田一臣
資本金	10億円
本社	長野県長野市大豆島5888
営業所	松本営業所（長野県松本市）
直営店	みやげ小売店6店舗 ※子会社管轄店舗含む
	飲食店1店舗
	アウトドア用品店3店舗
	ギフト用品小売店舗1店舗
	温泉施設1店舗

100%出資
子会社

株式会社ひだ銘販	(岐阜県)
株式会社富士銘販	(静岡県)
株式会社赤城銘販	(群馬県)
株式会社東京旬彩堂	(東京都)
株式会社越後銘販	(新潟県)
株式会社佐渡銘販	(新潟県)
株式会社郡山銘販	(福島県)
株式会社蔵王銘販	(宮城県)
庄和堂株式会社	(山形県)
株式会社奥羽銘販	(岩手県)
株式会社青森銘販	(青森県)
株式会社札幌旬彩堂	(北海道)
有限会社タカチホ・サービス	(長野県)



経営
理念

限りなき発展を目指し、社員と株主、取引先との共存共栄をはかり、豊かな生活を創造し、そして社会に貢献する。
大きな会社を築くより、最良の会社を目指す

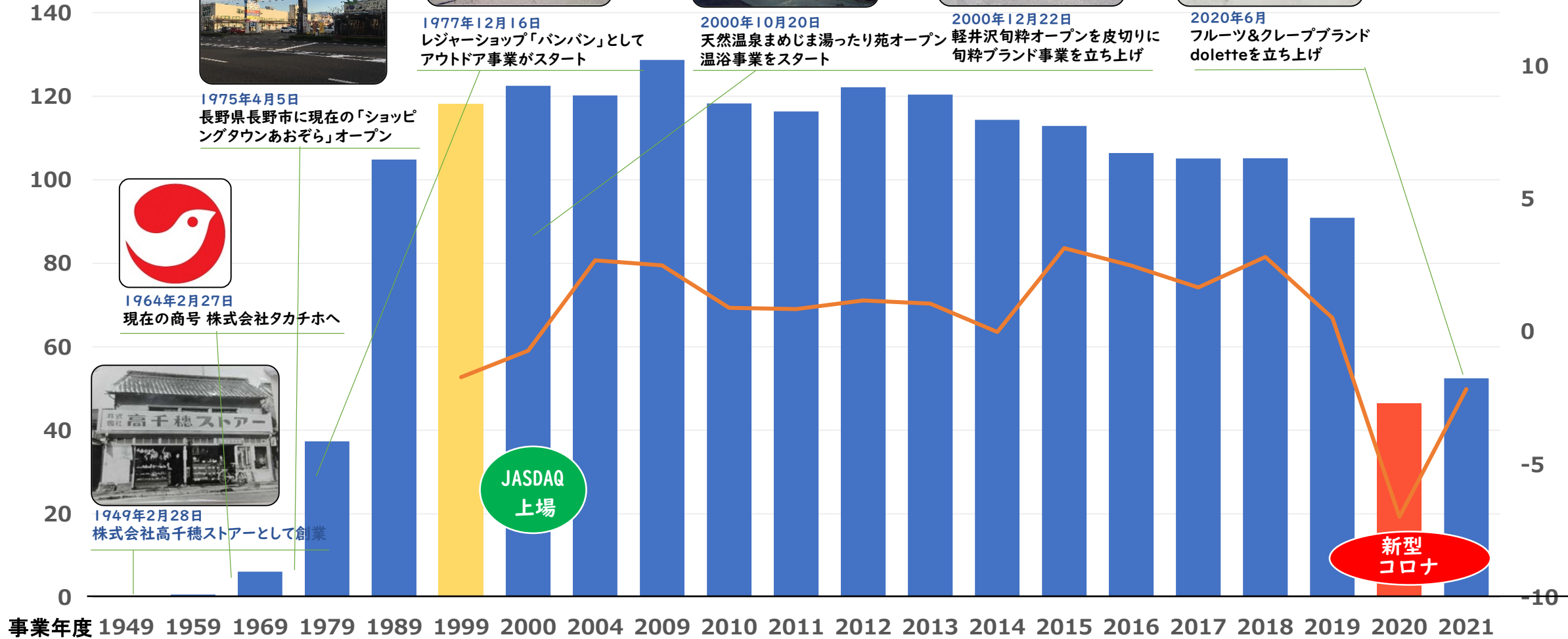
経営
ビジョン

当社はレジャー産業を基軸にする専門企業として常に環境の変化に対応し、新たな需要の創造と機能性の向上を目指すとともに、業務を通し生活文化の向上に貢献し、日々新たなる挑戦により企業文化の創造と育成を図る



売上(棒グラフ)
(単位:億円)

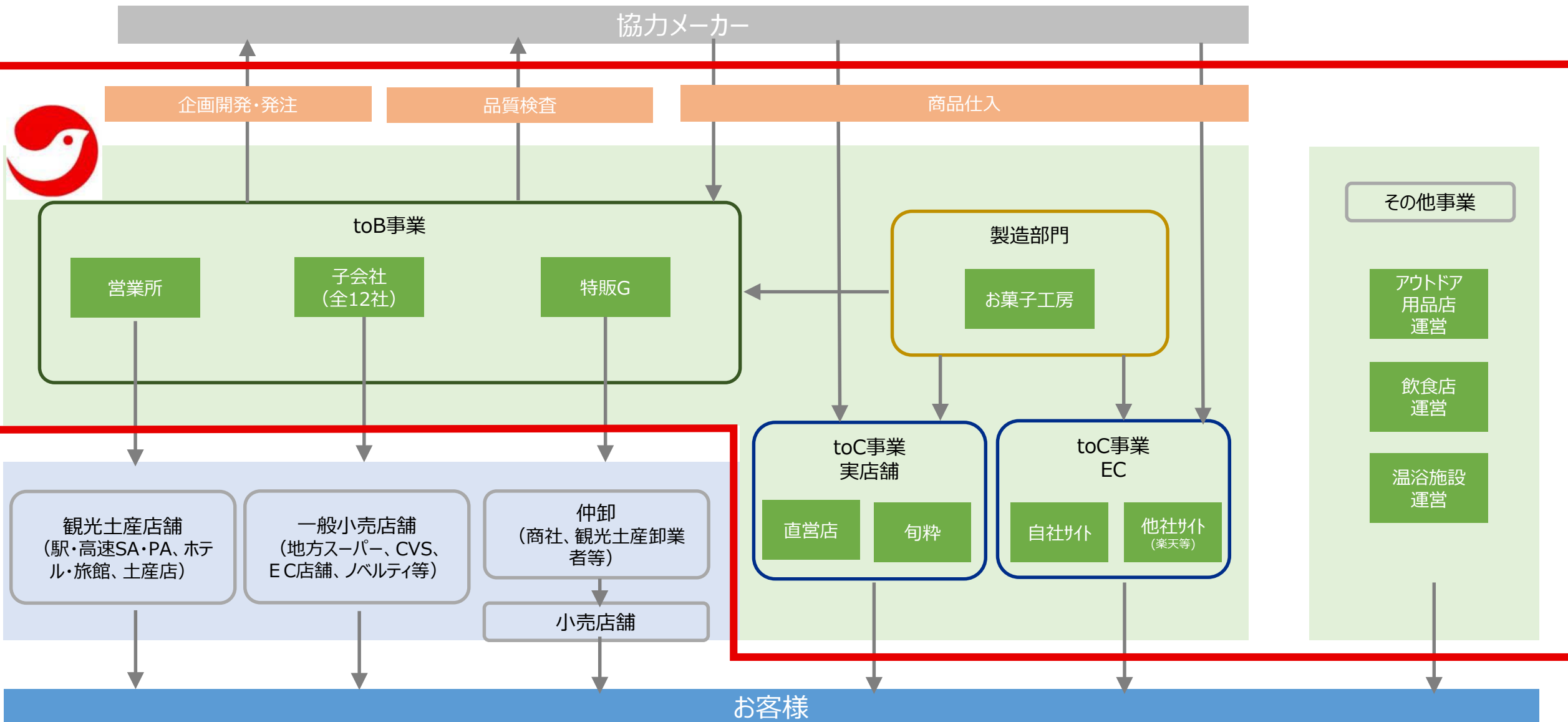
経常利益(折れ線グラフ)
(単位:億円)



JASDAQ
上場

新型
コロナ

当社のビジネスモデル



お土産品を通じて人のつながりと人生を楽しむ余暇時間を提供

魅力的な商品提供による 観光業界活性化を支援

- ◆ 全国に亘る取引先からの知名度・信頼
- ◆ 1000社以上の協力企業による小ロット生産と物流体制
- ◆ 東日本を中心とした子会社による地域密着の販売網

小売店の活性化を支援

- ◆ 各営業拠点や自社小売店舗から得られるマーケティング情報
- ◆ 売り場づくりの支援ノウハウ（演出から販売）
- ◆ 蓄積情報の提供による小売店の経営支援ノウハウ（キャッシュレスサービス等）

地域の観光魅力度(観光価値)向上へ寄与

- ◆ 協力企業との連携による商品企画力
- ◆ 地域企業・団体・生産者との繋がりによるオリジナル商品の開発
- ◆ 自社工場活用によるオリジナル商品提供力

小売店ニーズ

- 少量多品種の品揃え
- 滞りの無い商品調達

- 店舗の活性化・集客力向上
- 店舗運営の効率化

地元住民ニーズ

- 地域の魅力の発信・地元活性化
- 地元素材の活用

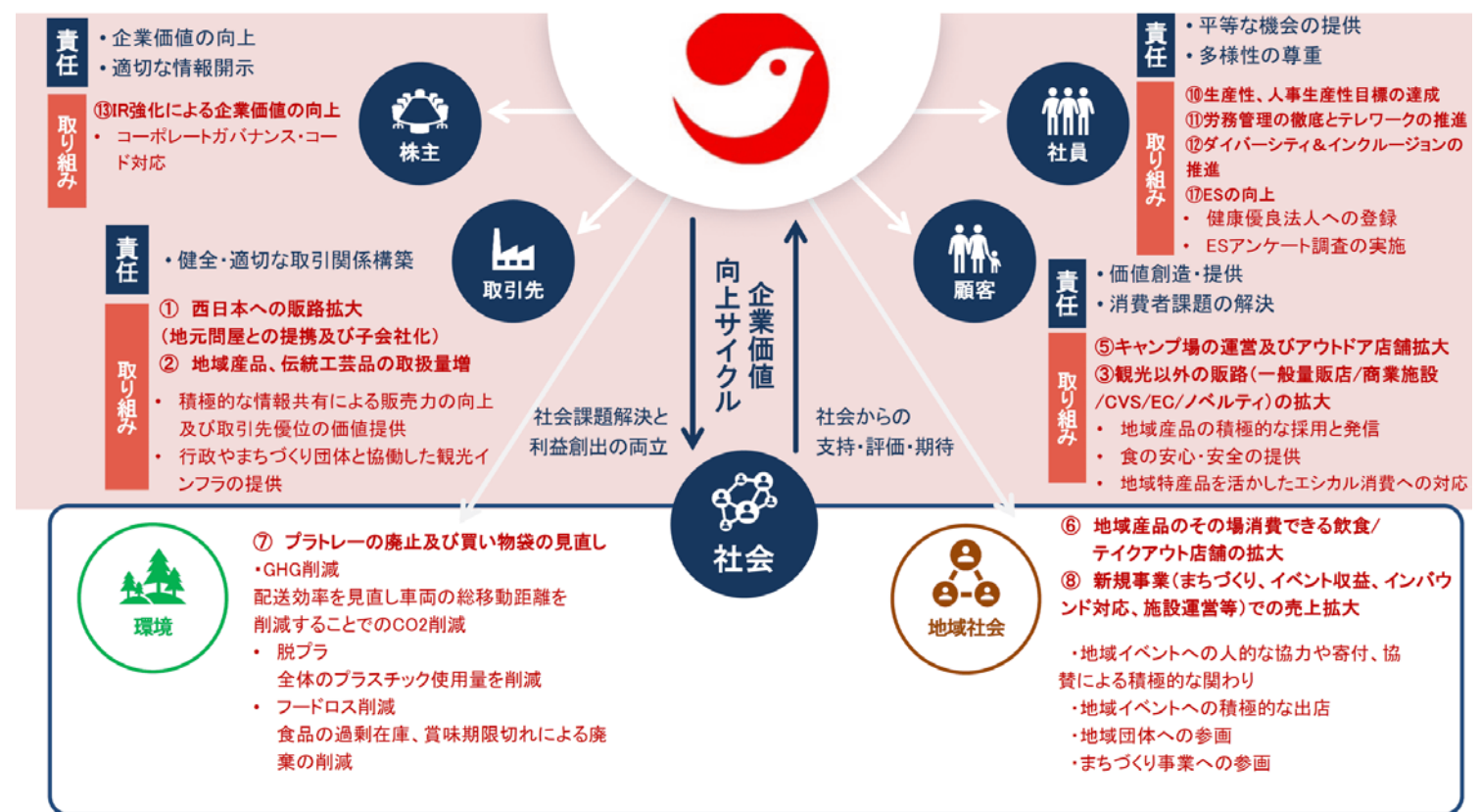
観光客ニーズ

- 新たな地域の魅力発見
- ユニークな商品との出会い

サステナビリティに対する考え方、取り組み

ステークホルダーとの協働・協創の全体設計と中期経営計画における取り組みについて当社HPにて公表しております。

<https://kk-takachiho.jp/publics/index/101/>





健康経営優良法人2022（大規模法人部門）の認定

当社は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取り組みが優良であることが認められ、2022年3月9日付で、「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）」に認定されました。

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。



リスタート ～新時代に向けた価値創造～

- 創業70余年にわたり発展を続けてきた中、創業の原点に回帰し
新たな時代にふさわしい価値を創造する



当社の価値を再度見つめ直し、地域全体の発展に寄与することで
新たな時代に即した価値を見出し企業発展の礎とする

目標数値（2026.3）及び推移

自己資本比率	35%以上	2022年3月期	24.9%
		2021年3月期	27.5%
		2020年3月期	47.3%
売上総利益率	30%以上	2022年3月期	27.3%
		2021年3月期	24.0%
		2020年3月期	25.8%
営業利益率	3%以上	2022年3月期	△4.1%
		2021年3月期	△15.0%
		2020年3月期	0.6%
ROA (総資産利益率)	5%以上	2022年3月期	△5.9%
		2021年3月期	△17.1%
		2020年3月期	1.1%
ROE (自己資本利益率)	14%以上	2022年3月期	△15.6%
		2021年3月期	△61.2%
		2020年3月期	2.4%



SDGsに向けた取り組み(2030年目標)



地域産品を使用した商品構成

70%以上 (2021年 約40%)



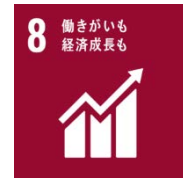
プラトラーを使用した商品

全体の45%以下 (2021年 約62%)



ESアンケート総合満足度

70%以上 (2021年調査 約42%)





目標数値と指標及び推移

セグメント別業績目標（2026.3）

（単位:百万円）

セグメント	2026.3(目標)	2021.3(実績)	2022.3(実績)	2023.3(予想)
売上高	11,000	4,654	5,247	6,400
観光土産卸	7,600	2,656	3,308	4,264
観光土産小売	1,300	474	464	650
土産製造	300	76	80	150
アウトドア事業	800	696	694	685
温浴事業	300	196	238	266
飲食事業	200	70	73	97
その他（新規事業含む）	500	482	387	288
営業利益	350	△697	△216	60
当期純利益	225	△940	△154	38

本件に対するお問い合わせ先



株式会社 **タカチホ**

管理本部／経営企画部

電話番号 : 026-221-6677 (代表)

メールアドレス : info@takachiho-net.co.jp